

空中給油 武力行使と一体 に外相、答弁不能で審議中断 本村議員の追及 衆院安保特委

本村伸子衆院議員は1日の安保法制特別委員会で質問に立ち、戦争法案で、愛知県にある航空自衛隊小牧基地の空中給油機が、日本防衛と関係ない事態でも、爆撃にむかう米軍などの戦闘機に空中給油できるようになる問題を取り上げました。

本村氏は、燃料がなければ、戦闘機は飛ぶこともできないし、給油をしなければ、爆撃にいくこともできない。なぜこれが、武力行使と一体でなく、憲法違反ではないのかと追及しました。



中谷防衛大臣は、「地理的に、実際に戦闘行為が行われる場所と一線を画する場

所で行うなどで武力行使と一体ではない」と答弁。本村氏が「給油せずに爆撃することができるのか」と追及すると、「出撃するためには給油が必要だ」と認め、「武力行使と一体」憲法違反」をこまかしの答弁で強引に「合憲」と言っているにすぎないことが明らかになりました。

また、本村氏は、日本を攻撃しようとしているA国の戦闘機にB国の軍隊が給油し、A国の戦闘機が日本を爆撃した場合、一体だと考えないのかとたどりました。これに対し、岸田外務大臣は、自衛隊の給油・整備の活動が他国の軍隊の武力行使と一体ではないという政府の理由を述べたため、質問に答えていないとして理事らが委員長席に集まり、審議が何度も中断しました。結局、岸田大臣は、武力行使と一

体化の議論は、日本独自の憲法上の議論で、日本が攻撃された場合にA国とB国の一体化についてはどうこう言えないといって逃げました。

さらに本村氏は、戦闘機の離陸の際に、一定の重量で抑える「最大離陸重量」があり、より多くの爆弾や兵器を載せるために燃料を減らして離陸し、空中給油機から給油するという空中給油機の役割を指摘し、戦闘能力を向上させ、武力行使と一体であり、憲法違反だと追及しました。黒江防衛政策局長は、空中給油機の活動はそれに限らないと答弁しましたが、戦闘能力を向上させることを否定しませんでした。

本村氏は「質問でも明らかになったように、憲法違反の戦争法案は廃案にすべきです」ときっぱり批判しました。

安倍内閣の悪政を批判

井上議員

井上さとし参院議員は1日、参院本会議で、2013年度決算に対する反対討論に立ち、安倍内閣によるアベノミクス、大型開発推進、原発再稼働、軍拡路線を批判するとともに、自民党の勉強会での沖繩侮辱、言論弾圧発言を取り上げ、総理に謝罪を求めました。

井上氏は、安倍内閣が労働の規制緩和や食の安全と農業をつぶし、経済主権を脅かすTPP交渉など大企

業中心の成長戦略を推進し、補正予算でも大企業が負担する復興特別法人税の前倒し廃止や大型開発を優先させたと批判。一方で、原材料高騰で円安倒産が広がり、労働者の実質賃金の落ち込み、生活保護費、年金給付費、児童扶養手当の削減、そのうえ消費税の増税と、国民生活と日本経済に深刻な事態を作り出したと批判しました。

戦争法案廃案に 島津、本村議員宣伝



「戦争法案は廃案に！」。島津幸広、本村伸子両衆院議員は29日、街頭宣伝で訴えました。島津議員は、静岡県委員会の「いっせい朝宣伝」で県庁・静岡市役所前で、もり大介・葵区県政対策委員長とともに、「憲法違反の悪法を許さない世論と運動を広げるなら、廃案にできる」と呼びかけました。本村議員も、名古屋市の金山総合駅前で、すやま初美参院愛知選挙区候補、山口清明、西山あさみ両名古屋市議と訴えました。

大運動

みよし市で入党者迎える —本村議員

本村伸子衆院議員は27日、名古屋市緑区や港区、みよし市などで党勢拡大行動に参加し、2人の入党者を迎え、赤旗日曜版読者を2人増やしました。みよし市では牧田みつお市長や支部の党員と行動。長年の党支持者や赤旗新聞の読者の方に入党を勧

め、「戦争法案は絶対にだめだ」と2人の方が入党しました。また、地域を回り、戦争法案廃案の署名にも「米軍機の機銃掃射にねらわれた。戦争法案は絶対にいかん」と協力していただきました。

刈谷市議選で3議席を〜本村議員（7月5日投票）
本村伸子衆院議員は6月28日に告示された愛知県刈谷市議選（7月5日投票）に立候補した山本シモ子、のむら武文、にいむら健治=いずれも現職=各候補の応援に入りました。